平成 2 2 年度病虫害発生予察指導情報
対象病虫害：ラッキョウ：白色疫病（No. 1）

平成 2 3 年 2 月 4 日
鳥取県病虫害防除所

1 情報の内容

昨年末からの積雪により、白色疫病が多発しやすい状態となっています。雪解け後の薬剤防除を徹底しましょう。

2 情報の根拠

- (1) 県内全域のラッキョウほ場では、昨年末から約 1 ヶ月間積雪下にあり、本病の発生状況が確認できないほ場が多い。
- (2) 長期間積雪下にあったことなどから、雪の重み等によって葉が損傷しているほ場が多いと予想され、そのようなほ場では発病が助長されやすい。
- (3) 前年も白色疫病の発生が多く、病原菌密度は高いと考えられる。
- (4) 本病は、降雪後の雪解け水や連続降雨により、発病が急速に広がりやすい。そのため、雪解けに伴って白色疫病が多発する可能性がある。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 雪解け後は直ちに、リドミル M Z 水和剤 5 0 0 倍液又はホライズンドライフロアブル 1 , 0 0 0 倍液を、展着剤を加用して散布する。
- (2) 罹病株は伝染源となるので、ほ場外に持ち出し処分する。